諫早市立たらみ図書館だより　2020.5・6 月合併号

海からの贈りもの

〒859-0406
諫早市多良見町木床 2002
TEL／0957-43-4611
FAX／0957-43-4623
ホームページ／
https://www.lib.isahaya.nagasaki.jp/

たらみ図書館　　館内でこんな取り組みをしています！

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書館のみならず学校や様々なお店などが休業し、私たちの暮らしにも様々な影響を及ぼしています。こんな時だからこそ！たらみ図書館が今、館内で行っている蔵書の展示や取り組みについてご案内いたします。

☆取り組み☆

・コロナウイルス「私たちが気になること」

図書館員が日々の新聞スクラップをしながら気になったこと・

暮らしに役立つ情報・気持ちがほっこりするニュースなどを掲示しています。

☆展示☆

・『**HAPPY×本**』…元気になる・心が晴れやかになる小説を集めました。

・『**読みやすい本**』…「LL ブック」と大きな文字を使った「大活字本」など図書館ならではの本を集めました。

・『**こんな時こそ本で暮らしを支えます**』…防災やウイルスに関する本を特集しています。

・『**家でできる楽しいこと**』…室内にいる機会が増えるこの時期にできる趣味や遊びの本を集めました。

・『**癒しの CD・DVD**』…ほっと一息できるような CD・DVD をセレクト。耳からも癒しを…

♬館内展示の場所はお気軽にお尋ねください♬

ご存知ですか？図書館活用術♪

みなさんは、図書館で探している本が見つからなくて困ったことはありませんか？学術目的はもちろんのこと、暮らしの中での疑問にお応えする資料をご案内することを**レファレンスサービス**と言い、図書館員の仕事の一つです。例えば…

①離乳食のレパートリーを増やしたい！
②家庭菜園の病害虫駆除に最適な農薬は？
③個人事業主になるのだが何から始めていいのか…
④パソコンを買ったが使い方が分からない。
⑤長崎県で多い苗字ってどんなのがある？

等々。

そんな時は、図書館員がお手伝いします♪
お気軽にお声がけください！

お知らせ

新型コロナウイルス感染防止対策のため、図書館・図書室主催のおはなし会・上映会などのイベントを８月末まで中止します。

また、図書館入館時にはマスクの着用や手指の消毒・滞在時間の短縮にご協力くださいますようよろしくお願いします。

ご寄贈ありがとうございました！
貞岡　伸二　様

カレンダー　6月

【開館時間】
火～木・土・日／10:00～18:00
金／12:00～20:00

【休館日】
月曜日・第３木曜日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

諫早市立図書館で予約が多い本

(2020 年 5 月 27 現在)

	書 名	著 者	出 版 社	予約数
1	クスノキの番人	東野 圭吾	実業之日本社	115
2	流浪の月	凪良 ゆう	東京創元社	107
3	僕はイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディ みかこ	新潮社	82
4	希望の糸	東野 圭吾	講談社	70
5	ライオンのおやつ	小川 糸	ポプラ社	54

新 着 本

【小説／エッセイ】

逆ソクラテス	伊坂 幸太郎／著	集英社
感謝離　ずっと一緒に	河崎 啓一／著	双葉社

【ビジネス／社会】

世界一わかりやすい新型コロナウイルス完全対策 BOOK	寺嶋 毅 ・ 西脇 俊二／監修	宝島社
話し方で好かれる人嫌われる人	野口 敏／著	三笠書房

【暮らし】

駅弁大百科	「旅と鉄道」編集部／編	天夢人
作りおき&朝 10 分糖質オフのラクチン弁当 365	成澤 文子／著	学研プラス

【その他】

絵本がつなぐ高齢者と子どもたち	森本 ちか／著	くもん出版
本屋を守れ　読書とは国力	藤原 正彦／著	PHP 研究所

図書館員のおすすめ本

『<レンタルなんもしない人>というサービスをはじめます。』

レンタルなんもしない人／著，河出書房新社　2019.5　分類　916 レ

本書は「何もしない」ということを前提に、一人の人間を貸し出すというサービスをツイッターで始めた著者が、依頼の内容とともに、お金や仕事のこと、人との関わり方について語っているものです。さて、その依頼はというと、「マラソンのゴールにいてほしい」「新幹線のホームで見送りしてほしい」「一人では頼みづらいので、一緒にクリームソーダを飲んでほしい」など、ほかにもバラエティーに富んだ依頼がたくさん紹介されています。団体の人数合わせなどではなく、一対一の依頼がほとんどだというところが興味深いです。紹介されたそれぞれの依頼に、著者の思いや後日談が書かれており、様子を思い浮かべながら読み進めることができます。何かできるから人としての価値があるのではなく、何もできなくても大丈夫だと、勇気づけられる一冊です。